

目的 布地空隙の大きさ分布評価のために従来用いられる液体を用いる平衡吸液法その他の方法を研究してきた。吸液法では布地中の大きい空隙域を充分カバーして有効な評価結果を得る事ができた。しかし、特に厚手で空隙率の大きい試料の場合は、空隙半径数 $1\text{ }\mu\text{m}$ 以上の域で評価空隙量が若干過大となる傾向が見出される。このため、別法による大径域の評価を実施し比較検討することが要望される。本報では写真画像による布地空隙の大きさ分布評価方法を研究した。

方法 ベローズを付設したカメラを用い接写撮影した画像を拡大し、一定区画内の空隙の形状をデジタイザーからパソコンに入力し、それぞれの大きさ区分に含まれる空隙量を求めた。

試布：毛100% サージ（洗たくおよび柔軟仕上げ処理～20回）

装置：パソコン（PC9801 F1）、デジタイザー（マイタブレット KD 4300）

結果 布地空隙分布の写真画像にもとづく評価法では $10\text{ }\mu\text{m}$ 以上の大径域空隙について形状をも含めた直接的な布地空隙の情報を得ることができる。これらの試布についてこの方法で評価した空隙率は14~45%程度であるが、総体的に有効な結果を得ることを認めた。